

【農業】業務改善助成金 活用事例（広島労働局：平成27年度～令和2年度 交付決定分）

| 番号 | 業種 | 労働者数 | 賃金額の<br>引き上げ状況  | 取組内容                                     | 導入前の状況   | 導入の効果  |
|----|----|------|-----------------|--|--|--|
| 1  | 農業 | 6人   | 時間給で60円賃金を引き上げた | 不整地運搬車、畦草刈機、畦草刈機用アルミブリッジ、自走式キャリラジコン動噴の導入 | 栽培の畑が大きくなり、場所が離れているため、不整地運搬車がもう1台必要になった。手で草を取り、長くて重いホースを引っ張っての水やりは、女性には難しかった。  | 不整地運搬車をもう1台導入したことにより、大いに助かった。軽量化された畦草刈り機や、自走式キャリラジコン動噴を導入したことにより、作業が容易になり、女性の活躍の場が広がり、大いに助かった。 |
| 2  | 農業 | 7人   | 時間給で90円賃金を引き上げた | 高馬力トラクターの導入                              | 従来のトラクターは、馬力が小さく変則システムがミッションであり運転業務がしづらかった。また、耕耘作業における荒おこしに1時間、仕上げ作業に2時間かかり、種まきにも支障があった。   | 高馬力トラクターの導入により、オートマチックのため操作性がよくなった。また、高馬力のため作業能力が大幅に改善した。これにより生産性が向上した。                        |
| 3  | 農業 | 4人   | 時間給で60円賃金を引き上げた | ①常温煙霧機、②環境モニタリングシステム、③自動養液灌水システムの導入      | ①従来、肥料の散布はノズルとホースを引っ張って人力でイチゴに散布しており、約2km程度歩き2時間程度かかり重労働であった。また、②各圃場の温度管理は人力で行っており、毎日、1時間30分程度要していた。さらに、③各圃場の灌水は毎日水の入ったバケツに肥料を溶かして人力で行っており、一日3回、1時間かかっていた。 | ①常温煙霧機、②環境モニタリングシステム、③自動養液灌水システムの導入により、これまで人力で行っていた作業がすべて自動化されて大幅な時間短縮ができ、生産性の向上につながった。        |